



2018-2019 年度 RI 会長テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2018-2019 年度 No.14

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125 FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2018-2019 年度 会長 坂井彦就、幹事 桧原やよい



インスピレーションになろう

(バリー・ラシン会長)

「クリスマス家族例会」・例会 記 録

2018 年「クリスマス家族例会」

平成 30 年 12 月 19 日(水)18:30 鳥越の宿三楽園



* 司会 長田正勝 SAA

* 開会の辞 齊藤彰副会長 (兼親睦活動委員)

* 会長挨拶と乾杯 坂井彦就会長



* お楽しみ: ビンゴ、風船割、ジャンケン

ニコニコBOX(SAA: 本日 17 名+3 名)

坂井会長: M' X'mas, 1 年間、感謝、御礼。来年も宜しく!

桧原幹事: 今日は沢山参加、賑やかで楽しい Xmas! 親睦委員の皆さん、準備お疲れ様!

齊藤副会長: 本日は和やか、ほっと。皆様の協力に感謝!

三谷会員: 3 名で来ました、何卒宜しくお願い致します。

小西会員: 一足早い Xmas、12/14 に満 5 歳の孫娘、美羽(みう)を同伴、家では討入娘と! 本日はお世話様です。

高瀬会員: M' X'mas! 今宵は親睦を! 準備に感謝!

横山幹会員: M' X'mas! 心を込めた準備、ご苦労様です!

三角夫人: 日頃の御礼! 主人は大阪! 我が家のアイドル、彩乃と二人参加しました。楽しい会でありますように!

宮窪会員: 親睦委員に感謝! 平成最後の Xmas 例会、楽しみましょう!

山下会員・一美夫人: RC の Xmas パーティーに初参加、皆さん、よろしくお願いします。

川原会員: Xmas 例会、楽しみに! 今年も一人です。

山本武夫会員: M' X'mas! 出る前に停電、今年はいろいろありました。来年は良い年になりますように!

長谷川会員: M' X'mas! 親睦委員に皆様、感謝、来年もよい年でありますように!

山本英介会員: この 1 年、ご迷惑おかけしました。来年への決意を新たに! 本年も有難う御座いました。

畠中会員: M' X'mas, ! 皆で会を楽しみましょう!

長田会員: 皆様、今年もあとわずか、頑張りましょう、Happy Xmas!

事務局阿部: 今年も楽しませてもらってます、感謝!

(賞品を頂いて)

宮窪会員: 三楽園さんのエステ券ゲット、感謝!

阿部さん: エステ券に感謝! つやつやにして頑張ります!

坂井会長: 世界一美味しいリンゴ、有難う御座います。

*ロータリーソング「手に手つないで」

*閉会・・・HPに写真集あり(参照ください)

第1930回例会

平成30年12月26日(水) よいとこ井波

1. 点鐘 会長
2. ソング: それでこそロータリー
3. 4つのテスト唱和
4. ゲスト: 三谷直樹氏(井波日本遺産推進協議会 会長)
5. 会長の時間: 先週のクリスマス家族例会、大勢の参加で楽しかったです。感謝いたします。
6. 出席委員会 18名中 12名出席 (66.67%)
7. ニコニコBOX(SAA: 本日2名)

坂井会長: 半年がおわりました。来年はもっと楽しいロータリーになる様、精進いたしますので、よろしく願い致します

宮窪会員: 年末年始の安全パトロールの為、早退します。皆様良い年をお迎えください。



ゲスト卓話 日本遺産認定「木彫刻のまち・井波」

井波日本遺産推進協議会会長 三谷直樹氏

三角会員(紹介者): 本日は、よくご存じの三谷直樹さんに卓話をお願いしました。



三谷直樹氏: (資料あり)「木彫刻のまち・井波」が日本遺産に認定されたのが、今年の平成30年5月24日で、東

京ステーションホテルで認定発表及び認定式があった。そもそも日本遺産とは、「地域の歴史的魅惑や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」を文化庁が認定するもので、2020年の東京五輪までに100件の認定をするもの。認定制度ができた背景は、「景気拡大戦後最長に並ぶ」経済再生相が12月21日の北日本新聞で述べたが、実感がない。そこで、日本の戦略として、内需拡大のため、インバウンドを増やす、外国人労働者を増やす、政策の一環。

ところで、井波の日本遺産のタイトルは「宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波」とし、ストーリーは、

- ① 瑞泉寺の再建と井波彫刻の誕生
- ② 小槌の音が響き、木々の薫りが漂うまち
- ③ 暮らしに根づく井波彫刻と職人の食
- ④ 継承される伝統の技と広がる井波彫刻

で、これに取り組む事業と事業費は、次に充てられる。

- i. 情報発信: ポスター、マップ、プロモーションビデオ、ガイド養成
- ii. 普及啓発: シンポジウム、講座、商品開発
- iii. 公開活用のための整備: 案内サイン
- iv. 調査研究: ニーズ調査、ターゲット調査

そして、期待される効果は、①インバウンド増加による消費効果 ②国内観光客増加による消費効果 ③井波地域のイメージアップ ④人口増に繋げるチャンス が考えられる。しかし、課題も多い。これから頑張りたい。(東京井波会第8号会報: 2019年1月発行を提供された。1面: JAL機内誌国際面英語版にて紹介あり: 全世界発行部数400万部のニュース)



(会報委員: 川原、山本)